

科目名	Word/Excel/PowerPoint			年度	2024年度		
				科	情報ソフトウェア科		
subject	Word & Excel & PowerPoint			コース	グローバルITコース		
				学年	学期	クラス	必修区分
担当講師	松永隆男			1年	第一学期	全クラス	必修
				使用言語		一般/専門 科目区分	
連携科目	コミュニケーションスキル			日本語	一般(ベーススキル)		
授業期間	授業時数	学期別時数		授業方法別時数			
4月 ~ 7月	45 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技	
		45 h	0 h	2 h	43 h	0 h	
授業概要/目的				到達目標/留意事項			
【概要】 ・Word、Excel、PowerPointの基本的な操作を学習する。 【目的】 ・学生生活に必要なPCの基本操作ができるようになること。				【到達目標】 ・Word、Excel、PowerPointの基本的な操作ができること。 ・日本語の資料作成ができること。 【留意事項】 ・ビジネス文書や発表資料の作成については、「コミュニケーションスキル」の授業でも行う。 ・この科目は、英語クラス・日本語クラス共通の科目である。			
教科書/副教材				関連資格			
【教科書】 『留学生のためのかんたんWord/Excel/PowerPoint入門』(技術評論社)				なし			
成績評価基準							
1.演習課題(90%) 提出した成果物で評価する。 2.総復習テスト(10%) 筆記試験で評価する。							
授業内容						授業時数	
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習
4月~5月	導入	この科目の説明 PCの使い方 日本語入力			1	2	
5月~6月	Word	Wordの基本 ビジネス文書の作成			6	6	
6月~7月	Excel	Excelの基本 表とグラフの作成			8	6	
7月	PowerPoint	PowerPointの基本 発表資料の作成			5	6	
7月	振り返り	総復習テスト 全体のまとめ			1	1	
計					2	43	0
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数			
				講義	演習	実験・実習・実技	
				0 h	0 h	0 h	

科目名	コミュニケーションスキル			年度	2024年度			
				科	情報ソフトウェア科			
subject	Communication Skills			コース	グローバルITコース			
				学年	学期	クラス	必修区分	
担当講師	松永隆男			1年	第一学期	全クラス	必修	
				使用言語		一般/専門 科目区分		
連携科目	Word/Excel/PowerPoint			日本語	一般(ヒューマンスキル)			
授業期間		授業時数	学期別時数		授業方法別時数			
4月 ~ 8月		45 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技	
			45 h	0 h	2 h	43 h	0 h	
授業概要/目的				到達目標/留意事項				
<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナーとコミュニケーション力を向上させる。 <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業実習や就職活動で必要となるビジネスマナーとコミュニケーション力を身につける。 ・この科目は、英語クラス・日本語クラス共通の科目である。 				<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自信を持って企業実習や就職活動に臨めるようになること。 ・自らの力でプレゼンテーションができること。 <p>【留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス文書やプレゼンテーションの資料作成は、「Word/Excel/PowerPoint」の授業でも行う。 ・この科目は、英語クラス・日本語クラス共通の科目である。 				
教科書/副教材				関連資格				
なし				なし				
成績評価基準								
1.確認テスト(100%) 毎回実施する確認テストで評価する。								
授業内容						授業時数		
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習	
4月	導入	この科目の説明 自己紹介			1	2		
5月~7月	ビジネスマナー	挨拶・話し方 ビジネス文書 ビジネスマナーの基本				6 6 12		
7月~8月	コミュニケーション	傾聴 プレゼンテーション ワークショップ				3 12 2		
8月	振り返り	全体のまとめ			1			
					計	2	43	0
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数				
				講義	演習	実験・実習・実技		
				0 h	0 h	0 h		

subject	Foundation of Information Technology Concepts			年度	2024年度			
				科	情報ソフトウェア科			
日本語訳	ITコンセプトの基礎			コース	グローバルITコース			
				学年	学期	クラス	必修区分	
担当講師	外部講師			1年	第一学期	英語クラス	必修	
				使用言語		一般/専門 科目区分		
連携科目	なし			英語	専門(テクニカルスキル)			
授業期間		授業時数	学期別時数		授業方法別時数			
4月 ~ 5月		38 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技	
			38 h	0 h	17 h	21 h	0 h	
授業概要/目的				到達目標/留意事項				
<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピューティング、アルゴリズム、およびデータ構造の基本的な概念を学習する。 <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報技術の分野を支える基本原理を理解するための強固な基礎を築くこと。 				<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピューティングで使用される基本的な概念と用語を理解する。 ・基本的なアルゴリズムとデータ構造の知識を得る。 ・一般的なプログラミング言語のシンタックスとセマンティクスに習熟する。 ・さまざまなソフトウェア開発方法論とその応用について学ぶ。 				
教科書/副教材				関連資格				
なし				なし				
成績評価基準								
1.確認テスト(100%)								
授業内容						授業時数		
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習	
4月	情報技術入門	ITとコンピューティングの基礎 コンピュータシステムの理解 様々な分野におけるITの役割			1			
4月	コンピューティング入門	ハードウェアとソフトウェアの基本概念 オペレーティングシステムの概要 ネットワークとインターネット入門			1	1		
4月	アルゴリズムと問題解決	アルゴリズムとは何か? コンピューティングにおける基本アルゴリズム 問題解決テクニック入門			1	1		
4月~5月	データ構造の基礎	データ型の理解 配列とリスト入門 データ型の理解構造の基本操作			1	1		
5月	プログラミング言語の概要	プログラミング言語入門/C言語入門/C言語の基本構造 C言語の制御フロー/C言語における基本的な入出力 C言語における関数/C言語における配列と文字列 C言語におけるポインタ/C言語における構造体			1	1	4	
5月	ソフトウェア開発方法論	ウォーターフォールモデル/アジャイル手法/その他の一般的な方法論			1			
					計	17	21	0
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数				
○		システム開発経験のある講師が実務経験を踏まえた実践的な授業を行う		講義	演習	実験・実習・実技		
				17 h	21 h	0 h		

subject	English for Information Technology		年度	2024年度				
			科	情報ソフトウェア科				
日本語訳	IT英語		コース	グローバルITコース				
			学年	学期	クラス	必選区分		
担当講師	外部講師		1年	第一学期	英語クラス	必修		
			使用言語		一般/専門 科目区分			
連携科目	なし		英語	専門(テクニカルスキル)				
授業期間		授業時数	学期別時数		授業方法別時数			
4月 ~ 6月		36 h	第一学期	第二学期	講義	演習		
			36 h	0 h	0 h	36 h		
						実験・実習・実技		
						0 h		
授業概要/目的			到達目標/留意事項					
<p>【概要】 ・非ネイティブIT学生のためのリスニングとスピーキングスキルの強化。</p> <p>【目的】 ・技術的な講義の理解、ディスカッションへの参加、技術情報を口頭で表現することに重点を置き、ITの文脈で効果的に英語でコミュニケーションする能力を向上させること。</p>			<p>【到達目標】 ・ITに特化した英語の語彙と発音の基礎を固める。 ・技術的な文脈で話される英語を効果的に理解するためのリスニングスキルを身につける。 ・IT関連のディスカッション、プレゼンテーション、ミーティングに参加するためのスピーキングスキルの向上。 ・英語での技術プレゼンテーションや面接に自信をつける。 ・複雑なITトピックについて話す際の流暢さと明瞭さを向上させる。</p>					
教科書/副教材			関連資格					
なし			なし					
成績評価基準								
1.プレゼンテーション(50%)								
2.成果物(50%)								
授業内容					授業時数			
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習	
4月	IT英語入門とリスニングスキル	基本的なIT用語と発音/IT文脈におけるリスニング理解				4		
4月~5月	技術的な議論に参加する	ITに関する会話への参加/アクティブリスニングと応答のテクニック				4		
5月	英語によるプレゼンテーションスキル	ITプレゼンテーションの準備/プレゼンテーションの練習				4		
5月	上級リスニング・技術的内容の理解	高度な技術的スピーチの理解/メモの取り方と要約				4		
5月	IT現場で流暢に話す	流暢さの向上/アクセント軽減テクニック				4		
5月	ITプロジェクトにおける 双方向コミュニケーション	共同作業における言語使用/技術的概念の説明				4		
5月~6月	技術面接と英会話	技術面接の準備/カジュアルな技術会話				4		
6月	復習と練習	総合的な復習/スピーキングとリスニングの拡大練習				4		
6月	プロフェッショナルなIT環境に おける高度なコミュニケーション	プロフェッショナルITコミュニケーション ITトピックに関するディベートとディスカッション				4		
					計	0	36	0
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数				
○		システム開発経験のある講師が実務経験を踏まえた実践的な授業を行う		講義	演習	実験・実習・実技		
				0 h	36 h	0 h		

科目名	IT用語		年度	2024年度			
			科	情報ソフトウェア科			
subject	Information Technology Terms		コース	グローバルITコース			
			学年	学期	クラス	必修区分	
担当講師	松永隆男		1年	第一学期	英語クラス	必修	
			使用言語		一般/専門 科目区分		
連携科目	なし		日本語	専門(テクニカルスキル)			
授業期間		授業時数	学期別時数		授業方法別時数		
4月 ~ 7月		24 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技
			24 h	0 h	24 h	0 h	0 h
授業概要/目的				到達目標/留意事項			
【概要】 ・基本的なIT用語を日本語で学習する。 【目的】 ・基本的な日本語のIT用語を理解すること。				【到達目標】 ・基本的な日本語のIT用語の表現を理解すること。 【留意事項】 ・情報セキュリティに関する用語は特に難しいので、よく勉強すること。			
教科書/副教材				関連資格			
なし				なし			
成績評価基準							
1.総復習テスト(100%) 筆記試験で評価する。							
授業内容					授業時数		
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習
4月~5月	導入	この科目の説明			1		
5月~7月	IT用語	日本語の文字と規格			2		
		端末に関する用語			3		
		データに関する用語			3		
		通信に関する用語			3		
		情報セキュリティに関する用語			6		
7月	振り返り	情報システムに関する用語			4		
		総復習テスト			1		
		全体の振り返り			1		
計					24	0	0
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数			
○		システム開発経験のある講師が実務経験を踏まえた実践的な授業を行う		講義	演習	実験・実習・実技	
				24 h	0 h	0 h	

subject	Artificial Intelligence & Machine Learning			年度	2024年度			
				科	情報ソフトウェア科			
日本語訳	人工知能と機械学習			コース	グローバルITコース			
				学年	学期	クラス	必修区分	
担当講師	外部講師			1年	第二学期	英語クラス	必修	
				使用言語		一般/専門 科目区分		
連携科目	なし			英語		専門(テクニカルスキル)		
授業期間		授業時数	学期別時数		授業方法別時数			
10月 ~ 11月		24 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技	
			0 h	24 h	16 h	8 h	0 h	
授業概要/目的				到達目標/留意事項				
【概要】 ・AI(人工知能)とML(機械学習)の基本概念を紹介する。 【目的】 ・AIとMLに関する基礎的な知識と実践的なスキルを習得すること。				【到達目標】 ・AIとMLの基本原則と概念を理解する。 ・AIとMLの実世界での応用を認識する。 ・AIとMLの倫理的意義と課題を理解する。 ・AIとMLの最新動向と将来性の方向性について常に情報を得る。 ・AIとMLの分野で学び続けるための基礎を培う。				
教科書/副教材				関連資格				
なし				なし				
成績評価基準								
1.成果物(100%)								
授業内容						授業時数		
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習	
10月	AIとML入門	AIとMLの概要/AIとMLの応用			1	2		
10月	機械学習の基礎	MLの種類/MLプロセスの概要/ツールとテクノロジー			1	2		
10月	データの理解と準備	データの探索/データのクリーニングと前処理			3			
10月	教師あり学習技法	回帰分析/分類技法/モデルの評価			3			
11月	教師なし学習技法	クラスタリング/次元削減/連想ルール			3			
11月	ニューラルネットワークとディープラーニング入門	ニューラルネットワークの基礎/ディープラーニング入門/フレームワーク			2	1		
11月	実線MLプロジェクト	エンドツーエンドのMLプロジェクト/モデルのトレーニングとテスト/ディスカッションと分析				3		
11月	AIとMLの倫理的考察と未来	倫理的な意味合い/現在のトレンドと将来予測/AIとMLのキャリアパス			3			
					計	16	8	0
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数				
○		システム開発経験のある講師が実務経験を踏まえた実践的な授業を行う		講義	演習	実験・実習・実技		
				16 h	8 h	0 h		

subject	Data Analytics			年度	2024年度			
				科	情報ソフトウェア科			
日本語訳	データ分析			コース	グローバルITコース			
				学年	学期	クラス	必修区分	
担当講師	外部講師			1年	第二学期	英語クラス	必修	
				使用言語		一般/専門 科目区分		
連携科目	なし			英語	専門(テクニカルスキル)			
授業期間		授業時数	学期別時数		授業方法別時数			
12月 ~ 2月		24 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技	
			0 h	24 h	10 h	14 h	0 h	
授業概要/目的				到達目標/留意事項				
<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> データを効果的に分析・解釈する方法について基本的な理解を深める。 <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> データアナリティクスの理解とスキルを飛躍的に向上させ、データに基づいた洞察を活用できるようにすること。 				<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> データ分析の基礎と重要性を理解する。 データの取り扱い、クリーニング、前処理のスキルを身につける。 統計的手法とツールを用いた探索的データ分析の実行。 データ分析と可視化のためのExcelとBIツールの活用。 予測分析の基礎とその応用を理解する。 データ分析の概念とスキルを実際のシナリオに適用する。 				
教科書/副教材				関連資格				
なし				なし				
成績評価基準								
1.プレゼンテーション(100%)								
授業内容						授業時数		
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習	
12月	データ分析入門	データ分析の概要/データ分析プロセス			2			
12月	データハンドリングの基礎	データを扱う/データクリーニングと前処理			2			
1月	探索的データ解析(EDA)	EDAを理解する/EDA実践演習				4		
1月	データ分析のための統計学入門	基本的な統計概念/統計的データ分析			2			
1月	Excelを使ったデータ分析	分析のためのExcel/Excelによるデータの可視化				5		
2月	ビジネスインテリジェンス(BI)ツール入門	BIツールの概要/ダッシュボードの作成				5		
2月	予測分析の基礎	予測分析入門/基本的な予測モデリング			2			
2月	データ分析の実践	データ分析のケーススタディ/データ分析の倫理と将来			2			
					計	10	14	0
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数				
○		システム開発経験のある講師が実務経験を踏まえた実践的な授業を行う		講義	演習	実験・実習・実技		
				10 h	14 h	0 h		

subject	Frontend Comprehensive HTML, CSS, JavaScript			年度	2024年度		
				科	情報ソフトウェア科		
日本語訳	フロントエンド総合			コース	グローバルITコース		
				学年	学期	クラス	必修区分
担当講師	外部講師			1年	第一学期	英語クラス	必修
				使用言語		一般/専門 科目区分	
連携科目	バックエンド総合			英語	専門(テクニカルスキル)		
授業期間		授業時数	学期別時数		授業方法別時数		
5月 ~ 7月		108 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技
			108 h	0 h	0 h	108 h	0 h
授業概要/目的				到達目標/留意事項			
<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> HTML、CSS、JavaScriptの学習を経て、フロントエンドWeb開発スキルを評価する。 <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生のスキル、プロジェクト、フロントエンドWeb開発技術の理解を紹介する個人的なWebポートフォリオを作成する。 				<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造化されたアクセシブルなWebページを作成する。 基本的なCSSスタイリングをWebページに適用できること。 イベントを通じてユーザとのインタラクションを処理する。 <p>【留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生のフロントエンドWeb開発における技術的習熟度を評価するだけでなく、ポートフォリオを充実させ、潜在的な雇用者にスキルをアピールする。 			
教科書/副教材				関連資格			
なし				なし			
成績評価基準							
1.成果物(100%)							
授業内容						授業時数	
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習
5月	HTML	HTMLの基礎 上級HTML				15	
5月~6月	CSS	CSSの基礎 上級CSS				15	
6月~7月	JavaScript	JavaScriptの基礎 中級JavaScript 上級JavaScript				12	
7月	キャップストーンプロジェクト	Webポートフォリオの作成				12	
					計	0	108
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数			
○		システム開発経験のある講師が実務経験を踏まえた実践的な授業を行う		講義	演習	実験・実習・実技	
				0 h	108 h	0 h	

subject	Backend Comprehensive Python, Database			年度	2024年度		
				科	情報ソフトウェア科		
日本語訳	バックエンド総合			コース	グローバルITコース		
				学年	学期	クラス	必修区分
担当講師	外部講師			1年	第一学期	英語クラス	必修
				使用言語		一般/専門 科目区分	
連携科目	フロントエンド総合			英語	専門(テクニカルスキル)		
授業期間		授業時数	学期別時数		授業方法別時数		
5月 ~ 7月		84 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技
			84 h	0 h	0 h	84 h	0 h
授業概要/目的				到達目標/留意事項			
<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> Pythonプログラミングとデータベース管理のスキルを習得し、図書館管理システムの開発を行う。 <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> バックエンド開発のためのPythonとデータベース処理のためのSQLを統合した機能的な図書館管理システムを構築する。 				<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的なWebアプリケーションを構築する。 Pythonスクリプトを使用してタスクを自動化する。 データベース管理システムの完全な理解。 SQLと高度なデータベース操作の習熟。 データベースの設計、正規化、管理に関する知識。 			
教科書/副教材				関連資格			
なし				なし			
成績評価基準							
1.成果物(100%)							
授業内容						授業時数	
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習
5月~6月	Python	Pythonの基礎 中級Python Pythonの応用				12	
6月~7月	データベース	データベースシステム入門 リレーショナルデータベースとSQLの基礎 データベース設計と正規化 上級データベーストピック 実践的アプリケーションと新たなトレンド				16	
7月	キャップストーンプロジェクト	図書館管理システム開発				6	
					計	0	84
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数			
○		システム開発経験のある講師が実務経験を踏まえた実践的な授業を行う		講義	演習	実験・実習・実技	
				0 h	84 h	0 h	

subject	Full Stack Web Developer			年度	2024年度		
				科	情報ソフトウェア科		
日本語訳	フルスタックWeb開発			コース	グローバルITコース		
				学年	学期	クラス	必修区分
担当講師	外部講師			1年	第二学期	英語クラス	選択必修
				使用言語		一般/専門 科目区分	
連携科目	なし			英語	専門(テクニカルスキル)		
授業期間		授業時数	学期別時数		授業方法別時数		
10月 ~ 2月		400 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技
			0 h	400 h	0 h	0 h	400 h
授業概要/目的				到達目標/留意事項			
<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> HTML、CSS、JavaScript、データベース管理、Pythonの基礎知識をもとに、複雑なWebアプリケーションを構築・保守できる熟練したフルスタック開発者に育成する。 <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> フルスタックデベロッパーにキャリアフォーカスするために必要なスキルと経験を得ること。 ※キャリアフォーカス科目の中から1科目選択必修 				<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度なフロントエンドおよびバックエンド開発の習熟。 堅牢なフルスタックアプリケーションを設計・構築する能力。 セキュリティのベストプラクティスとデータの取り扱いに関する知識。 プロジェクト管理とアジャイル手法のスキル。 フルスタック開発のキャリアへの準備。 			
教科書/副教材				関連資格			
なし				なし			
成績評価基準							
1.成果物(100%)							
授業内容						授業時数	
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習
10月	上級フロントエンド開発	JavaScriptとES6へのディープタイプ フロントエンドフレームワーク-React.js				40	
10月~11月	Node.jsによるバックエンド開発	Node.jsの基礎/データベースの統合/認証とセキュリティ				40	
11月~12月	フルスタック総合	フルスタックアプリケーションの構築 フルスタックアプリケーション開発 テストとデプロイメント				20	
12月~2月	Web開発のためのPythonとDjango	上級Python/Djangoフレームワーク フロントエンドとDjangoの統合				40	
2月	キャップストーンプロジェクトとキャリア準備	キャップストーンプロジェクト/キャリア準備				20	
					計	0	400
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数			
○		システム開発経験のある講師が実務経験を踏まえた実践的な授業を行う		講義	演習	実験・実習・実技	
				0 h	0 h	400 h	

subject	Croud & DX consaltant			年度	2024年度		
				科	情報ソフトウェア科		
日本語訳	クラウドとDXコンサルタント			コース	グローバルITコース		
				学年	学期	クラス	必修区分
担当講師	外部講師			1年	第二学期	英語クラス	選択必修
				使用言語		一般/専門 科目区分	
連携科目	なし			英語		専門(テクニカルスキル)	
授業期間		授業時数	学期別時数		授業方法別時数		
10月 ~ 2月		400 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技
			0 h	400 h	0 h	0 h	400 h
授業概要/目的				到達目標/留意事項			
<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルトランスフォーメーションの期間となるクラウドコンピューティングの習得。 <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> クラウドおよびDXのコンサルタントにキャリアフォーカスするために必要なスキルと経験を得ること。 ※キャリアフォーカス科目の中から1科目選択必修 				<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> クラウドコンピューティングの概念とサービスの深い理解。 デジタルトランスフォーメーションのためのクラウド技術の活用能力。 クラウドネイティブアプリケーション開発とクラウドインフラ管理のスキル。 デジタルトランスフォーメーションのための戦略立案とチェンジマネジメントの知識。 			
教科書/副教材				関連資格			
なし				なし			
成績評価基準							
1.成果物(100%)							
授業内容						授業時数	
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習
10月	クラウドコンピューティング入門	クラウドコンピューティングの基礎 クラウドサービスプロバイダー				40	
10月~11月	デジタルトランスフォーメーションのためのクラウドソリューション	クラウドインフラと管理/クラウドサービスの実装				40	
11月~12月	高度なクラウド技術	クラウドネイティブ開発/クラウドにおけるDevOps				80	
12月~2月	戦略的デジタルトランスフォーメーション	デジタルトランスフォーメーションの理解 デジタルトランスフォーメーションの計画と指導 顧客体験とエンゲージメント				20	
2月	キャップストーンプロジェクトとキャリア準備	キャップストーンプロジェクト/キャリア準備				40	
						20	
					計	0	400
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数			
○		システム開発経験のある講師が実務経験を踏まえた実践的な授業を行う		講義	演習	実験・実習・実技	
				0 h	0 h	400 h	

subject	Professional Lecture			年度	2024年度		
				科	情報ソフトウェア科		
日本語訳	講話			コース	グローバルITコース		
				学年	学期	クラス	必選区分
担当講師	外部講師			1年	通年	英語クラス	必修
				使用言語		一般/専門 科目区分	
連携科目	【日本語クラス】職業人講話			英語・日本語	専門(テクニカルスキル)		
授業期間	授業時数	学期別時数		授業方法別時数			
4月 ~ 2月	24 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技	
		12 h	12 h	0 h	0 h	24 h	
授業概要/目的				到達目標/留意事項			
【概要】 ・講話を聴講し、レポートを作成する。 【目的】 ・傾聴能力とレポート作成能力を向上すること。 ※産学連携科目				【到達目標】 ・講話の内容を理解し、的確な内容のレポートを作成できる。 【留意事項】 ・日本語クラスと合同開催の際は、日本語の講話となる。			
教科書/副教材				関連資格			
なし				なし			
成績評価基準							
1.レポート(100%)							
授業内容						授業時数	
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習
4月~2月	講話	ゲストスピーカによる講話・ディスカッション					24
					計	0	0
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数			
				講義	演習	実験・実習・実技	
				0 h	0 h	0 h	

科目名	ITリテラシー			年度	2024年度		
				科	情報ソフトウェア科		
subject	Information Technology Literacy			コース	グローバルITコース		
				学年	学期	クラス	必修区分
担当講師	松永隆男			1年	第一学期	日本語クラス	必修
				使用言語		一般/専門 科目区分	
連携科目	なし			日本語	専門(テクニカルスキル)		
授業期間		授業時数	学期別時数		授業方法別時数		
4月 ~ 5月		33 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技
			33 h	0 h	33 h	0 h	0 h
授業概要/目的				到達目標/留意事項			
【概要】 ・IT(情報技術)にかかわる基礎的な用語を学習する。 【目的】 ・ITにかかわる用語を理解すること。				【到達目標】 ・基礎的なITにかかわる用語を理解すること。 【留意事項】 ・ここでいう「ITにかかわる用語」とは、テクノロジー分野の用語だけではなく、マネジメント分野やストラテジ分野の用語を含む。			
教科書/副教材				関連資格			
【教科書】 『留学生のためのITリテラシー』(インフォテック・サーブ)				なし			
成績評価基準							
1.総復習テスト(100%) 筆記試験で評価する。							
授業内容						授業時数	
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習
4月	導入	この科目の説明			1		
4月~5月	テクノロジー分野	ハードウェアとソフトウェア			4		
		データベース			2		
		ネットワーク			2		
		セキュリティ			4		
		情報システム			2		
		マルチメディアとヒューマンインタフェース			2		
5月	マネジメント分野	プロジェクトマネジメント			4		
		サービスマネジメント			2		
5月	ストラテジ分野	企業と法務			4		
		経営戦略			2		
		システム戦略			2		
5月	振り返り	筆記試験			1		
		全体のまとめ			1		
計					33	0	0
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数			
○		システム開発経験のある講師が実務経験を踏まえた実践的な授業を行う		講義	演習	実験・実習・実技	
				33 h	0 h	0 h	

科目名	情報セキュリティと情報倫理			年度	2024年度			
				科	情報ソフトウェア科			
subject	Information Security & Information Ethics			コース	グローバルITコース			
				学年	学期	クラス	必修区分	
担当講師	松永隆男			1年	第二学期	日本語クラス	必修	
				使用言語		一般/専門 科目区分		
連携科目	なし			日本語	専門(テクニカルスキル)			
授業期間		授業時数	学期別時数		授業方法別時数			
10月 ~ 2月		48 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技	
			0 h	48 h	26 h	22 h	0 h	
授業概要/目的				到達目標/留意事項				
<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティの基本と対策の学習と演習。 AIが発展する社会におけるエンジニアの使命と役割を考察する。 <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報および情報システムの目的・取扱方針・内容を理解し、情報セキュリティを確保できる人材になること。 倫理観を持ってAIを活用する自律した人材になること。 				<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らが扱う情報について、情報セキュリティを確保できること。 倫理観を持って業務にあたる人材になること。 <p>【留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> この科目に関する用語は日本語の中でも難しい部類に入るので、よく勉強すること。 				
教科書/副教材				関連資格				
<p>【教科書】</p> <p>『なるほど！情報セキュリティ』(インフォテック・サブ)</p>				なし				
成績評価基準								
<p>1.確認テスト(100%)</p> <p>5回実施する確認テストで評価する。</p>								
授業内容						授業時数		
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習	
10月	導入	この科目の説明			1			
10月~11月	情報セキュリティ	情報セキュリティ概論			8			
		確認テスト①			1			
		基本的な情報セキュリティ対策				5		
		確認テスト②				1		
11月~12月	関連法規	情報セキュリティ関連法規			3			
		著作権			2			
		確認テスト③			1			
12月~2月	ケーススタディ	情報セキュリティインシデント				14		
		確認テスト④				2		
2月	情報倫理	技術者倫理			2			
		AIガバナンス			3			
		AI哲学			2			
		確認テスト⑤			2			
2月	振り返り	全体のまとめ			1			
					計	26	22	0
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数				
○		システム開発経験のある講師が実務経験を踏まえた実践的な授業を行う		講義	演習	実験・実習・実技		
				26 h	22 h	0 h		

科目名	HTML/CSS			年度	2024年度		
				科	情報ソフトウェア科		
subject	HyperText Markup Language & Cascading Style Sheets			コース	グローバルITコース		
				学年	学期	クラス	必修区分
担当講師	松永隆男			1年	第一学期	日本語クラス	必修
				使用言語		一般/専門 科目区分	
連携科目	Webアプリケーション開発			日本語	専門(テクニカルスキル)		
授業期間	授業時数	学期別時数		授業方法別時数			
4月 ~ 5月	45 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技	
		45 h	0 h	2 h	43 h	0 h	
授業概要/目的				到達目標/留意事項			
【概要】 ・HTML(HyperText Markup Language)とCSS(Cascading Style Sheets)の基礎を学習する。 【目的】 ・Webページのコーディング(HTML、CSS)の基礎を理解すること。				【到達目標】 ・基本的なWebページのコーディングができるようになること。 【留意事項】 ・当科目で学習するHTMLとCSSの知識が「Webアプリケーション開発」で必要となる。			
教科書/副教材				関連資格			
【教科書】 『スラスラわかるHTML&CSSのきほん第3版』(SBクリエイティブ)				なし			
成績評価基準							
1.確認テスト(100%) 3回実施する確認テストで評価する。							
授業内容						授業時数	
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習
4月	導入	この科目の説明			1		
4月~5月	HTMLの基礎	Webサイトとは HTMLの書式 テキストの表示 リンクと画像				2 4 4 4	
5月	CSSの基礎	確認テスト① CSSの書式 テキストのスタイル ボックスモデル フレックスボックス				1 3 4 4	
5月	レイアウト	確認テスト② グリッドレイアウト フォーム レスポンシブデザイン				1 4 4 4	
5月	振り返り	確認テスト③ 全体のまとめ			1		1
計					2	43	0
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数			
○		システム開発経験のある講師が実務経験を踏まえた実践的な授業を行う		講義	演習	実験・実習・実技	
				2 h	43 h	0 h	

科目名	Python			年度	2024年度		
				科	情報ソフトウェア科		
subject	Python Programming			コース	グローバルITコース		
				学年	学期	クラス	必修区分
担当講師	松永隆男			1年	第一学期	日本語クラス	必修
				使用言語		一般/専門 科目区分	
連携科目	Webアプリケーション開発			日本語	専門(テクニカルスキル)		
授業期間	授業時数	学期別時数		授業方法別時数			
5月 ~ 6月	45 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技	
		45 h	0 h	2 h	43 h	0 h	
授業概要/目的				到達目標/留意事項			
【概要】 ・プログラミング言語のPythonを用いたプログラミングを学習する。 【目的】 ・アルゴリズムの基礎を理解すること。 ・Pythonの基本的なコーディングができるようになること。				【到達目標】 ・Pythonを用いて基本的なプログラミングができるようになること。 【留意事項】 ・当科目で学習するPythonの知識が「Webアプリケーション開発」で必要となる。			
教科書/副教材				関連資格			
【教科書】 『Pythonプログラミングパーフェクトマスター [最新Visual Studio Code対応 第4版]』(秀和システム)				なし			
成績評価基準							
1.総復習テスト(100%) 3回実施する確認テストで評価する。							
授業内容						授業時数	
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習
5月	導入	この科目の説明			1		
5月~6月	プログラミングの基本	プログラミングとは データ型と演算 確認テスト① 条件分岐と繰り返し 確認テスト② オブジェクト GUIと正規表現 機械学習 確認テスト③				2 9 1 9 1 6 7 7 1	
6月	振り返り	全体のまとめ			1		
計					2	43	0
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数			
○		システム開発経験のある講師が実務経験を踏まえた実践的な授業を行う		講義	演習	実験・実習・実技	
				2 h	43 h	0 h	

科目名	Webアプリケーション開発			年度	2024年度		
				科	情報ソフトウェア科		
subject	Web Application Development			コース	グローバルITコース		
				学年	学期	クラス	必修区分
担当講師	松永隆男			1年	第一学期	日本語クラス	必修
				使用言語		一般/専門 科目区分	
連携科目	HTML/CSS・Python			日本語	専門(テクニカルスキル)		
授業期間	授業時数	学期別時数		授業方法別時数			
5月～7月	167h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技	
		167h	0h	4h	163h	0h	
授業概要/目的				到達目標/留意事項			
<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> Webアプリケーションプログラムの開発をする。 <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> Webアプリケーションのシステム構成と仕組みを理解すること。 フロントエンドおよびバックエンドの開発に従事できるようになること。 				<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> Webアプリケーションの構成と仕組みを理解すること。 フルスタック開発を体験する。 <p>【留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> フロントエンド開発で必要となるHTMLおよびCSSの基礎は、「HTML/CSS」で学習済みである。 バックエンド開発で必要となるPythonの基礎は、「Python」で学習済みである。 			
教科書/副教材				関連資格			
<p>【教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『リバーシを作りながら学ぶJavaScript AIの基本 対戦プログラムの開発に挑戦!』(秀和システム) 『Flask本格入門～やさしくわかるWebアプリ開発～』(技術評論社) 				なし			
成績評価基準							
<p>1.成果物(60%)</p> <p>提出した演習課題を評価する。</p> <p>2.確認テスト(40%)</p> <p>2回実施する確認テストで評価する。</p>							
授業内容						授業時数	
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習
5月 6月	導入 JavaScript	この科目の説明 JavaScriptとは JavaScriptによるWebアプリケーション開発			1	2	
6月～7月	Flask	確認テスト① Flaskとは 開発環境構築 FlaskによるWebアプリケーション開発			1	63	
7月 7月	演習課題 振り返り	確認テスト② 演習課題 全体のまとめ				1	32
					計	3	164
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数			
○		システム開発経験のある講師が実務経験を踏まえた実践的な授業を行う		講義	演習	実験・実習・実技	
				4h	163h	0h	

科目名	システム開発演習			年度	2024年度			
				科	情報ソフトウェア科			
subject	System Development			コース	グローバルITコース			
				学年	学期	クラス	必修区分	
担当講師	外部講師 / 松永隆男			1年	第二学期	日本語クラス	必修	
				使用言語		一般/専門 科目区分		
連携科目	職業人講話			日本語	専門(テクニカルスキル)			
授業期間		授業時数	学期別時数		授業方法別時数			
10月 ~ 2月		400 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技	
			0 h	400 h	0 h	400 h	0 h	
授業概要/目的				到達目標/留意事項				
<p>【概要】 ・産学連携によるシステム開発演習。</p> <p>【目的】 ・システム開発の実務を体験し、自分がどの技術領域のエンジニアになるのか決定する。</p> <p>※産学連携科目</p>				<p>【到達目標】 ・目的・目標を理解して期限内に業務を遂行できる能力を身につけること。 ・自分に足りないスキルを自覚し、自ら学習したり相談できる人材になること。</p> <p>【留意事項】 ・演習のチーム/グループ分けにより演習内容が異なることがある。 ・学校外で演習を行うことがある。</p>				
教科書/副教材				関連資格				
なし				なし				
成績評価基準								
<p>1.成果物(60%) 提出した演習課題を評価する。</p> <p>2.レポート(40%) 課題レポートを評価する。</p>								
授業内容						授業時数		
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習	
10月~2月	システム開発	チーム/グループごとのシステム開発				400		
					計	0	400	0
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数				
○		システム開発経験のある講師が実務経験を踏まえた実践的な授業を行う		講義	演習	実験・実習・実技		
				0 h	400 h	0 h		

科目名	職業人講話			年度	2024年度		
				科	情報ソフトウェア科		
subject	Professional Lecture			コース	グローバルITコース		
				学年	学期	クラス	必修区分
担当講師	外部講師 / 松永隆男			1年	通年	日本語クラス	必修
				使用言語		一般/専門 科目区分	
連携科目	【英語クラス】講話・システム開発演習			日本語	専門(テクニカルスキル)		
授業期間	授業時数	学期別時数		授業方法別時数			
4月 ~ 2月	24 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技	
		9 h	15 h	24 h	0 h	0 h	
授業概要/目的				到達目標/留意事項			
【概要】 ・講話を聴講し、レポートを作成する。 【目的】 ・傾聴能力を向上すること。 ・レポート作成能力を向上すること。 ・近年の技術的・社会的トレンドを理解すること。 ※産学連携科目				【到達目標】 ・講話の内容を理解し、的確な内容のレポートを作成できる。 【留意事項】 ・授業時間内にレポート作成が終わらないときは、宿題となる。			
教科書/副教材				関連資格			
なし				なし			
成績評価基準							
1.レポート(100%) 聴講レポートを評価する。							
授業内容						授業時数	
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習
4月	講話①	講師紹介・講話聴講・質疑応答・レポート作成			3		
6月	講話②	講師紹介・講話聴講・質疑応答・レポート作成			3		
7月	講話③	講師紹介・講話聴講・質疑応答・レポート作成			3		
10月	講話④	講師紹介・講話聴講・質疑応答・レポート作成			3		
11月	講話⑤	講師紹介・講話聴講・質疑応答・レポート作成			3		
12月	講話⑥	講師紹介・講話聴講・質疑応答・レポート作成			3		
1月	講話⑦	講師紹介・講話聴講・質疑応答・レポート作成			3		
2月	講話⑧	講師紹介・講話聴講・質疑応答・レポート作成			3		
計					24	0	0
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数			
				講義	演習	実験・実習・実技	
				0 h	0 h	0 h	

科目名	パートナーシップトレーニング I		年度	2024年度				
			科	情報ソフトウェア科				
subject	Partnership Training I		コース	グローバルITコース				
			学年	学期	クラス	必修区分		
担当講師	産学連携企業担当者 / 松永隆男		2年	第一学期	日本語クラス	必修		
			使用言語		一般/専門 科目区分			
連携科目	パートナーシップトレーニングII・パートナーシップトレーニングIII		英語・日本語	専門(テクニカルスキル)				
授業期間	授業時数	学期別時数		授業方法別時数				
4月 ~ 7月	389 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技		
		389 h	0 h	0 h	0 h	389 h		
授業概要/目的			到達目標/留意事項					
【概要】 ・産学連携による企業実習。 【目的】 ・グローバルに活躍するIT/AIエンジニアになるために、実務能力と実践力を身につけること。 ※産学連携科目			【到達目標】 ・企業で活躍できる人材となること。 【留意事項】 ・定期的に学校に作業報告書を提出すること。その際、事前に企業担当者から記述内容を確認してもらうこと。 ・企業での実習時間の合計が科目の所定時数に達しない場合は、学校で補習を受講すること。					
教科書/副教材			関連資格					
なし			なし					
成績評価基準								
1.作業報告書(60%) 定期的に学校に提出する作業報告書を評価する。 2.レポート(40%) 実習に関するレポートを評価する。								
授業内容					授業時数			
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習	
4月~7月	パートナーシップトレーニング	企業での実務作業 ※実習日は毎日企業担当者に報告し確認してもらう ※定期的に学校に作業報告書を提出 ※指定する期日までに学校にレポートを提出 ※実習時間が所定時数に達しない場合は学校で補習					389	
					計	0	0	389
実務経験のある教員による授業	実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数					
			講義	演習	実験・実習・実技			
			0 h	0 h	0 h			

科目名	パートナーシップトレーニングⅡ		年度	2024年度				
			科	情報ソフトウェア科				
subject	Partnership Training II		コース	グローバルITコース				
			学年	学期	クラス	必選区分		
担当講師	産学連携企業担当者 / 松永隆男		2年	通年	日本語クラス	必修		
			使用言語		一般/専門 科目区分			
連携科目	パートナーシップトレーニングⅠ・パートナーシップトレーニングⅢ		英語・日本語	専門(テクニカルスキル)				
授業期間	授業時数	学期別時数		授業方法別時数				
8月 ~ 12月	293 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技		
		0 h	293 h	0 h	0 h	293 h		
授業概要/目的			到達目標/留意事項					
<p>【概要】 ・産学連携による企業実習。</p> <p>【目的】 ・グローバルに活躍するIT/AIエンジニアになるために、実務能力と実践力を身につけること。</p> <p>※産学連携科目</p>			<p>【到達目標】 ・企業で活躍できる人材となること。</p> <p>【留意事項】 ・定期的に学校に作業報告書を提出すること。その際、事前に企業担当者から記述内容を確認してもらうこと。 ・企業での実習時間の合計が科目の所定時数に達しない場合は、学校で補習を受講すること。 ・長期休み中に実習を行うことがある。</p>					
教科書/副教材			関連資格					
なし			なし					
成績評価基準								
<p>1.作業報告書(60%) 定期的に学校に提出する作業報告書を評価する。</p> <p>2.レポート(40%) 実習に関するレポートを評価する。</p>								
授業内容					授業時数			
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習	
8月~12月	パートナーシップトレーニング	企業での実務作業 ※実習日は毎日企業担当者に報告し確認してもらう ※定期的に学校に作業報告書を提出 ※指定する期日までに学校にレポートを提出 ※実習時間が所定時数に達しない場合は学校で補習					293	
					計	0	0	293
実務経験のある教員による授業		実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数				
				講義	演習	実験・実習・実技		
				0 h	0 h	0 h		

科目名	パートナーシップトレーニングⅢ		年度	2024年度				
			科	情報ソフトウェア科				
subject	Partnership Training III		コース	グローバルITコース				
			学年	学期	クラス	必選区分		
担当講師	産学連携企業担当者 / 松永隆男		2年	第二学期	日本語クラス	必修		
			使用言語		一般/専門 科目区分			
連携科目	パートナーシップトレーニングⅠ・パートナーシップトレーニングⅡ		英語・日本語	専門(テクニカルスキル)				
授業期間	授業時数	学期別時数		授業方法別時数				
12月 ~ 3月	170 h	第一学期	第二学期	講義	演習	実験・実習・実技		
		0 h	170 h	0 h	0 h	170 h		
授業概要/目的			到達目標/留意事項					
<p>【概要】 ・産学連携による企業実習。</p> <p>【目的】 ・グローバルに活躍するIT/AIエンジニアになるために、実務能力と実践力を身につけること。</p> <p>※産学連携科目</p>			<p>【到達目標】 ・企業で活躍できる人材となること。</p> <p>【留意事項】 ・定期的に学校に作業報告書を提出すること。その際、事前に企業担当者から記述内容を確認してもらうこと。 ・企業での実習時間の合計が科目の所定時数に達しない場合は、学校で補習を受講すること。 ・長期休み中に実習を行うことがある。</p>					
教科書/副教材			関連資格					
なし			なし					
成績評価基準								
<p>1.作業報告書(60%) 定期的に学校に提出する作業報告書を評価する。</p> <p>2.レポート(40%) 実習に関するレポートを評価する。</p>								
授業内容					授業時数			
期間(開始及び終了)	項目	内容			講義	演習	実習	
12月~3月	パートナーシップトレーニング	企業での実務作業 ※実習日は毎日企業担当者に報告し確認してもらう ※定期的に学校に作業報告書を提出 ※指定する期日までに学校にレポートを提出 ※実習時間が所定時数に達しない場合は学校で補習					170	
					計	0	0	170
実務経験のある教員による授業	実務経験のある教員の経歴		実務経験のある教員の担当時間数					
			講義	演習	実験・実習・実技			
			0 h	0 h	0 h			